



や ちまた し
八街市
 けい かく
こども計画

れいわ ねん ど れいわ ねん ど
 令和8年度～令和11年度

こども^{ばん}版



**こども
 まんなか**



れいわ ねん がつ
 令和8年3月
 や ちまた し
八街市

この計画をつくるわけ

日本では「こども基本法」という、こどもを大切にするための大事な法律ができました。世界の国があつまって「こどもを大切にしようね」と約束した、「こどもの権利条約」もあります。そこで八街市でも、こどもをまんなかにした社会(=こどもまんなか社会)になるために、「八街市こども計画」を作ることになりました。

「こどもまんなか」ってなに？

すべてのこどもが元気に育つ
どんな家庭や事情でも幸せに暮らせる
そんな社会のことです。



「こどもの権利」ってなに？

こどもが生まれたときから持っている、とても大切な人権(にんげんとしての大事なきまり)です。

これは、なにかをがまんしたかわりにもらうものではありません。
また、なにかまちがいをしたからといって、とり上げていいものでもありません。

こどもも大人も、「ひとりの人間」として、同じように大切にされなければなりません。

子どもの権利のやくそく(4つの大切なきまり)

このような特に大切な4つのきまりがあります。

1 差別をしないこと

男の子・女の子、国、病気があるかないかなどで不公平に扱ってはけません。

2 子どもにとって一番良い事を考えること

何かを決めるとき、「子どもにとっていちばん良い事とはなんだろう？」と最初に考えます。

3 いのちと健やかな成長を守ること

子どもが安心して暮らし、健やかに育つことが守られます。

4 子どもの気持ちや意見を大切にすること

子どもが自分の気持ちや考えを言えるようにします。大人はその声をしっかり聞いて、大切にします。

子ども計画ってなに？

全ての子どもや若者が心と体が元気で、自分らしく暮らしているようにするためのやくそく(計画)です。

0歳からおおむね29歳までの人を助けていくためのものです。

こども計画の特徴

- 八街市のこどもたちに、「まちがこうなったらいいな」と思う事をアンケートやお話会(ワークショップ)で聞き、こどもたちの意見を生かしていきます。
- 0歳の赤ちゃんから、働き始めた若者(おおむね29歳)まで、ずっと切れ目なくサポートしていきます。

めざす八街市の姿

いちばん大切にする考え方

こどもをまんなかに心豊かに 健やかに育つまち

この八街市の考え方を、もう少しかんたんに言うと、

- こどもが元気に生まれ、すくすく育つ
- こどもも大人も安心して暮らせる
- よろこびや「やってよかった」という気持ちをもてる
- こどもがみらいに夢や希望をもてる

そんなまちにしていくことを目標に
しています。



いちばん大切にする考え方を実現するために、3つのおもな目標と特に力を入れて行う大事な取組みをつくりました。

おもな目標

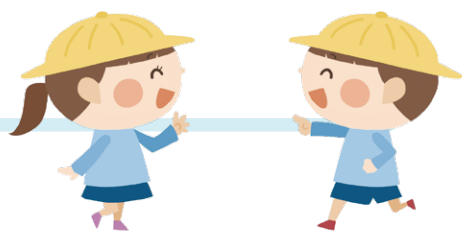
1 こどもまんなかを支えるまち

2 こども・若者が安心して成長できるまち

3 こども・若者の未来を地域で育むまち

具体的にはどのような取組みをするの？

1 こどもまんなかを支えるまち



こどもの権利と社会参加

どんなことをする？

- こどもにも大切な「権利」があることを、学校やいろいろな場所で伝えます。
- こどもがまちのことについて、意見を言える場所をつくります。またその意見を市のしごとに生かしていきます。

自分らしく生きる力をのばす

どんなことをする？

- こどもが自分で考え生きる力をつけられるような教育をすすめます。
- お父さんかお母さんどちらかだけの家庭をささえる支援をします。
- お金のことでこまっている家庭をたすけるしくみを強くします。

2 こども・若者が安心して成長できるまち



ねん 年れいにあった支援 し えん

どんなことをする？

- 保育園・幼稚園・学校などの設備を新しくしたり、タブレット端末を
活用した一人ひとりに合わせた教え方などをすすめていきます。
- 保育を充実させ、はたらく家の人も安心できるようにします。
- 子育てを手伝うひろばや、相談できる場所をふやしたり、よくしたりします。

すこ 健やかな成長をたすける せいちょう

どんなことをする？

- 楽しく食(しょく)育(いく)をすすめます。
- 障(しょう)がいのあるこどものための支(し)援(えん)を増(ふ)やします。
- 病(びょう)気(き)や障(しょう)がいがあつて、とくべつな医(い)療(りょう)的(てき)ケア(ケア)がひつようなこどもをささえるしくみをととのえます。

3 こども・若者の未来を地域で育むまち



ち いき 地域みんなでこどもを育てる そだ

どんなことをする？

- 家庭や地域が、こどもを育てる力をつけられるようにたすけます。
- 子育てを手伝う人や場所のつながりをつくりまします。

みらい 未来を担(た)うこども・若者をささえる わかもの

どんなことをする？

- これから親になる人を、みんなでささえ育てていきます。
- 仕事と家庭の時間をうまく分けて、こどもと過ごす時間も大切にできる生き方を広めます。

とく ちから い とり く 特に力を入れる3つの取組み

1 「こどもまんなか社会」にするための準備

どんなことをする？

- 「こども計画」では、こどもを大切な権利をもつ一人の人と考えます。こどもや若者の意見を大切にして、いろいろな取組みに生かします。すべてのこどもが、夢や希望を持ち、元気で幸せに成長できる社会をめざします。

2 ヤングケアラーや暮らしに困っている家庭を助ける

※「ヤングケアラー」って？

→本来なら大人がやらなければいけないような家事や家族の世話などを行っているこどもです。

どんなことをする？

- ヤングケアラーや、生活にこまっている家庭のことを、市の人みんなが理解できるようにします。
- 貧困がくり返されないように、早い時期に支援につながっていきます。
- お金のことが原因で必要な手助けを受けられないことがないようにします。
- こどもが安心してすごせる居場所をふやしていきます。

3 支援につながるお知らせをわかりやすく伝える

どんなことをする？

- だれに相談したらいいかわからないこどもや若者にも、相談できる場所を知ることができるよう、情報をしっかりととどけます。
- 市の公式LINEなどを使って、「地域で子育てを手伝うことの大切さ」や、「こどもをまんなかにしたまちのかたち」をわかりやすく伝えていきます。



とりく 取組みのようす

けいかくしょ いちづ じぎょう じっさい とりく しょうかい
計画書に位置付けられた事業の実際の取組みについてご紹介
します。

じぎょうめい やちまた こゆめぎかい 《事業名：八街っ子夢議会》

れいわ ねん がつ にち か やちまたし ぎかいほんかい ぎじょう しない
令和8年1月27日(火)に八街市議会本会議場において、市内
しょうがっこう こう ちゅうがっこう こう こうこう こう ごうけい にん じどう せいと
の小学校8校、中学校4校、高校2校から合計28人の児童、生徒
さんか だいひょうしつもん かんれんしつもん おこな
が参加し、代表質問、関連質問を行いました。

おも だいひょうしつもん がっこう しせつ か や
主な代表質問として「学校施設のバリアフリー化について」「八
ちまたし みりよくはっけん あ ぎかい しんこう じどう
街市の魅力発見について」が挙げられました。議会の進行も児童、
せいと おこな ほんばん し ぎかい ぎかい かいさい
生徒にて行い、本番の市議会さながらの議会が開催できました。



だいひょうしつもん ようす
代表質問の様子1



だいひょうしつもん ようす
代表質問の様子2

やちまたし けいかく ばん 八街市こども計画【こども版】

れいわ ねん がつ
令和8年3月

へんしゅう やちまたしけんこうこ ぶこそだ しえんか はっこう やちまたし
編集：八街市健康子ども部子育て支援課 発行：八街市

ち ばけん やちまたしやちまた
〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35-29

T E L: 043-443-1693

E-mail: kosodate@city.yachimata.lg.jp